



令和8年産 気仙沼・南三陸 稲作情報 第7号

令和8年8月21日発行
宮城県米づくり推進気仙沼地方本部・宮城県気仙沼農業改良普及センター
TEL 0226-25-8068 FAX 0226-22-1606

- 落水時期は出穂後30日以降を目安としましょう。
- 管内の出穂期は8月6日です。8月6日に出穂期を迎えた「ひとめぼれ」では9月15日から9月22日頃が刈取適期となる見込みです。品質低下を防ぐため、適期刈取に努めましょう。

1 今後の栽培管理

(1) 水管理

- ・落水時期は出穂後30日以降が目安ですが、ほ場条件、天候、登熟状況などを考慮して時期を決定しましょう。
- ・落水後の好天が続き、田面が乾き過ぎるときは、走り水程度のかん水をしましょう。

(2) 適期刈取りの判断

- ・管内の出穂期は8月6日で、平年（過去5か年の平均）の8月3日より3日遅くなりました。
- ・出穂後の積算気温による刈取適期の目安は、「ひとめぼれ」で940℃～1,100℃です。
8月6日に出穂期を迎えたほ場の刈取適期は、9月15日から9月22日頃となる見込み（8月20日現在）ですが（表1参照）、今後の天候により刈取適期は前後する可能性があります。
- ・収穫適期に達する積算気温は品種により異なります。表1を参考に適期刈取に努めましょう。
- ・一般的には、籾の80～90%程度が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から3分の1程度黄変したときが成熟期です。穂の熟色等をよく観察して刈取適期を判断しましょう。
- ・倒伏したほ場では、穂発芽による品質低下が起きやすいので、刈取早限を迎えたら直ちに収穫しましょう。
- ・天気予報を確認し計画的に作業しましょう。

表1 品種ごとの積算気温による刈取時期の目安（8月20日現在）

品 種	早晩性	出穂後の 積算気温	出 穂 期					
			7/30	8/3	8/6	8/8	8/10	8/12
ひとめぼれ	中生	940～1,100℃	9/9～15	9/12～19	9/15～22	9/18～25	9/20～27	9/22～30

※アメダス地点は、気仙沼。

※積算気温は、8月20日までは実測値、8月21日以降は過去5カ年（令和3年から令和7年）の平均値を使用。

現段階での目安であり、今後の天候により前後する可能性があります。

【表1の見方】

「ひとめぼれ」の出穂期が8月6日の場合、9月15日（刈取早限）から9月22日（刈取晩限）が刈取適期と見込まれます。

表2（参考） 管内における水稻の出穂状況

	出穂始期	出穂期	穂揃期
R8	7/30	8/6	8/12
R7	7/29	8/1	8/8
平年	7/30	8/3	8/9

※「出穂始期」、「出穂期」、「穂揃期」は、管内の水稻作付見込面積に対して、出穂に達した面積が5%、50%、95%以上となった日

※「平年」は、過去5カ年（令和3年から令和7年）の平均

管内における出穂期は8月6日となり、前年より5日遅く、平年より3日遅くなりました。

(3) 籾熟色によるコンバイン収穫期の予測判定

「ひとめぼれ」では平均穂数株において稈の長さが中庸な枝梗数8本の穂の中位二次枝梗籾の籾色を観察することにより、成熟段階が判定でき、刈取適期を予測できます。一方、成熟期を過ぎると着色粒や胴割粒等の被害粒の発生が増加し、玄米の外観品質が著しく低下します。

成熟段階	籾熟色	備考
I	第1位籾が急速に黄化開始（籾黄化判定開始）	
II	第1位籾がほぼ黄化（90%）（7日以内で刈取早限）	
III	第1位籾が殆ど黄化し（95%）、第2、3位籾が黄化開始（刈取早限）	刈取適期
IV	第1位籾の黄化100%、第2、3位籾が30%黄化（積算気温1,000℃程度）	
V	第2、3位籾が50%以上黄化（刈取晩限）	

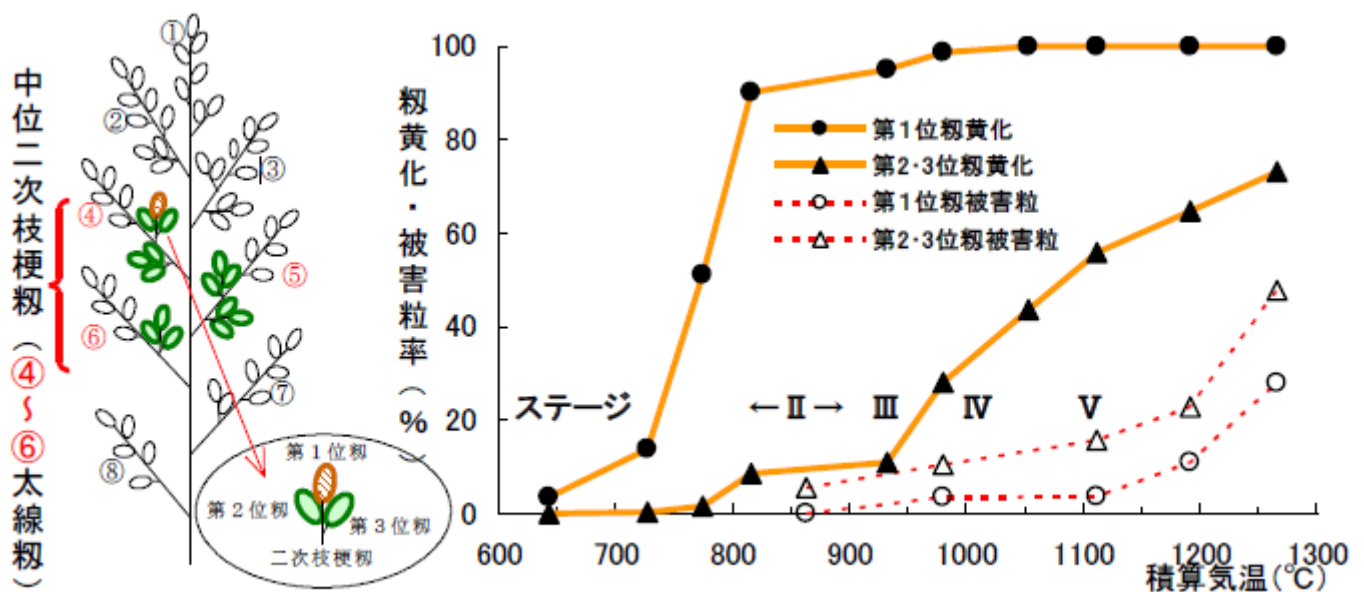


図1 積算温度と穂の中位二次枝梗籾黄化率の推移

2 良食味・高品質米に仕上げる収穫・乾燥調製

(1) 収穫作業

- ・コンバイン収穫では籾水分が高いと収穫時に損傷が多くなるので、籾水分25%以下を目標に刈り取りましょう。
- ・複数の品種の刈取りを行う場合、品種が替わる際に十分な清掃を行い、機械内における異品種の混入を未然に防ぐよう注意しましょう。
- ・倒伏している場合は、他の稲とは別に「刈分け」を実施し、収穫物に石など異物が混入しないよう注意しましょう。

(2) 乾燥・調製作業

- ・収穫した生籾を放置すると発熱して変質米の原因になるので、刈取り後、速やかに乾燥機に張り込み、送風しましょう。
- ・倒伏した稲や未熟粒の多い稲などを機械乾燥する場合は、二段乾燥を行い、水分ムラや胴割米の発生を抑えましょう。

※【二段乾燥】籾水分が18%程度になったら火力乾燥を一時中断し、一定時間通風循環後に仕上げ乾燥を行う。

- ・正確な水分測定のためには、玄米の測定サンプルから未熟粒を取り除いて測定しましょう。また、こまめに水分測定をすることで過乾燥を防止しましょう。仕上がり玄米水分は14.5%～15.0%が目標です。
- ・異品種の混入を防ぐため、品種が替わるごとに機械類の清掃を徹底しましょう。

3 気象の概況

梅雨明け（東北南部）は8月4日頃（速報値）となり、前年より17日遅く、平年より11日遅くなりました。7月中の気温は平年並～やや上回って推移し、8月以降はおおむね平年並み～平年を下回って推移しました。また、7月第5半旬から8月第1半旬にかけて降雨が続き、平年を大幅に上回る降水量が記録され、同期間においては日照時間が平年を下回りました。

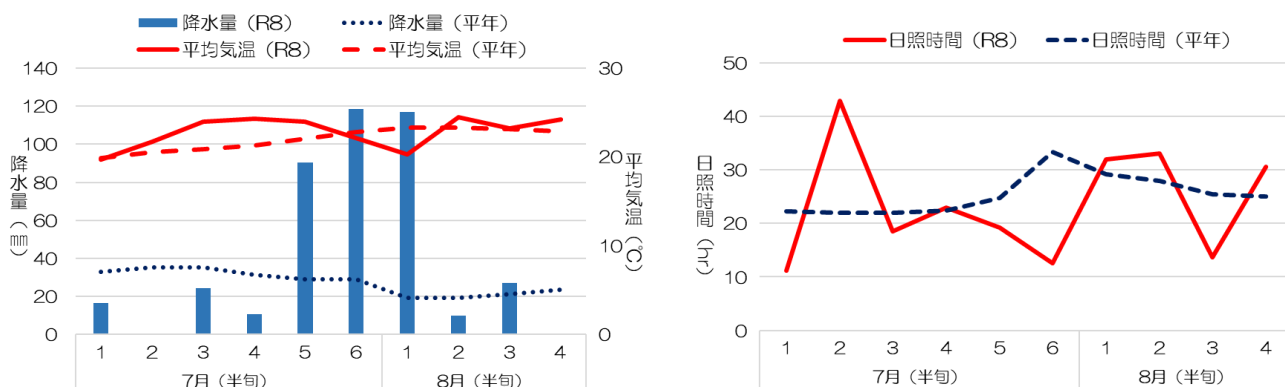


図1 気象経過図（気仙沼アメダス、7月1日～8月20日）

4 向こう1か月の天候の見通し 東北地方（8／22～9／21）

（仙台管区气象台8月20日発表）

○予報のポイント

- ・暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高く、東北太平洋側では期間の前半はかなり高くなる見込みです。

○向こう1か月の天候

- ・東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

★7月から9月は 夏の熱中症等声かけ期間 です！

農作業中の熱中症等による死亡者が急増しています！

このうち、約85%が7～8月に発生しています。

熱中症事故は、周りの人がお互いに気を配り、声をかけ合うことで、防げる可能性があります！



（参考）

農林水産省 HP

熱中症対策の3つのポイント！

- ① 温度を見て作業を考えよう
- ② こまめに休憩を取ろう
- ③ もしもの時の応急処置

次回の稲作情報の発行は、令和8年12月下旬を予定しています。